

いしだ便り

第 33 号

2021年1月28日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会

謹賀新年



令和3年朝日に輝く石田の霊峰霊山と石田小学校

新年のあいさつ



石田ふるさと振興会長

渡辺 三男

新年明けましておめでとうございます。ご家族皆様で新しい年を迎えられましたことお慶び申し上げます。また、常日頃は振興会事業にご支援、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、コロナ禍の中で様々な行事が自粛となりましたが、各委員会で知恵を絞り出来る限りのイベントを行ってまいりました。中でも二年目を迎えた、ヒガンバナ祭りはフォトコンテストだけの催しとなりましたが、百五十点余りの応募があり、どれも力作ぞろいの素晴らしい写真を展示することができました。本年は早くコロナ禍が終息し、いつもの行事ができることを祈って、各委員会が頑張っつてまいりますので、皆様のご参加を御願ひ申し上げます。本年が良い年でありますようお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

第二回ヒガンバナまつり フォトコンテスト

今回はお彼岸頃に咲き始め十月中旬まで美しく見事に咲き乱れてくれました。そのせいか応募作品も百五十七点と昨年より多く出品され内容も素晴らしいものばかりで本格的なフォトコンテストとなりました。

十月二十五日に審査が行われ最優秀賞には福島市の大橋功さん、優秀賞は福島市の梅津文子さん、霊山町の菅野敏江さん、臼杵薫さん、菅野崇明さん、菅野律子さんの作品が受賞しました。(四面に作品掲載しました)



最優秀賞の大橋功さん

この人紹介します



石田合同所有林野会

理事長 菅野 良元

この度、石田合同所有林野会理事長に選任されました菅野良元です。日頃より林野会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、林野会では山林の維持管理、石田ブヨメキの水芭蕉をはじめ、桜、レンギョウの植栽クマガイソウや九輪草の定植に取り組んできました。今年も桜の苗木百本を寄贈していただくことが決定しております。また、令和二年七月で仮設焼却炉は解体され更地となりました。

石田ブヨメキ地区を将来的には「桜の名所」として多くの方が訪れる場所になることを願ひ、地域の魅力を次世代に繋いでいきます。そして「花見山のようにしたい」という思いで整備し続けていきます。これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

石田小学習発表会

全校劇「石田からのエール」



熱演する児童と先生

十月三十一日出席者全員の体温測定、マスク着用、換気も随時行うなどコロナ対策の中学習発表会が行われました。テーマは「十七人できずなを一つに石田っ子」とした全校劇で、半年前から準備に入り教職員と一丸となり、きずなの大切さ石田の良さを世界に発信

するという愛と感動の物語となる力作となりました。劇中では児童の精一杯の演技と先生方の熱演もあり見ごたえがありました。また、人気テレビの部分も演出され見る人も楽しめ、演技している児童も楽しそうでした。体育館の中にはNHKドラマ「エール」の主人公窪田正孝と二階堂ふみの二人が一緒に写真を撮った全校児童の写真があり、皆とても良い表情の写真で温かい気持ちになりました。エールを送りたいと思います。

また、六年生が自主的に熊本豪雨災害へエールを送ったことでNHKからお手紙と「エール」のポスターが送られてきました。それには主人公からのメッセージが添えられ石田小学校へのエールでした。



送られてきたポスター

委員会便り

総務広報委員会

菅野 清夫

令和二年はコロナ対策から、全国的にイベント自粛に明け暮れた一年となりました。こうした中、当振興会もイベント自粛に対応し、例年事業ヒガンバナ植栽、ヒガンバナ祭りの実施となりました。地区の皆様、各委員のご協力からヒガンバナ祭りフォトコンテストにおいては、多くの応募作品があり、石田の原風景発信に貢献することができました。ホームページにも応募作品は掲載しておりますので、是非見てください。また、石田便り地域の話題等も掲載し随時更新しております。

健康福祉委員会

佐藤 紹一

石田っ子クラブもは再開できていませんが、せめて子どもたちを喜ばせることはできないか久しぶりに委員会を開き話し合いました。

小学校の学習発表会がハロウィン（十月三十一日）の日だということで、サプライズプレゼントを配ることにしました。

学習発表会后、たくさんのお菓子が入った

大きな袋を代表児童に直接手渡すことができました。皆とても喜んでくれて石田っ子クラブの再開も楽しみにしてくれているとのこと安心しました。

地域活性化委員会

菅野 毅

新年あけましておめでとうございます。昨年は、コロナで続べての行事がキャンセルになり、活動らしい活動が全くできませんでした。そんな中でカレンダーの作成など、皆さんのご協力を得ながら行ってきました。まだまだコロナの終息は見えませんが、できる範囲で今年も活動していきたいと思えます。また、『石田の四季』をテーマに写真を募集したいと思えますので、どうぞふるって応募してください。期限はありません。その都度ベストショットを撮影してください。優秀な作品はカレンダーに乗せたいと思います。それでは、皆さん体に留意され今年一年頑張りましょう。

環境防災委員会

佐々木 壮之助

毎年十二月に行いました防災訓練はコロナ

禍のために中止といたしました。石田地区自主防災組織編成表により担当者は自分の日常活動と非常時の活動を把握していただく事を話し合いました。また、防災用品の点検、非常食の賞味期限の調査を十一月二十九日に行いました。さらには、急傾斜区域を確認して地図を作ることを始める予定です。ご協力を宜しくお願いいたします。

女性委員会

寺島 幸恵

石田もますます高齢化が進んできました。やはり何をするにも年配者の方々の考えうかがっていろいろな行事や取り組みを行っていったほうが良いと思えます。農作業のこと、昔ながらの手作りの物、言い伝えなどを聞かせていただきたいと思います。

長い人生の中での豊富な知識や体験などを語ってほしいです。

そういう場があれば私たちはとても勉強になりますし、年配者の方々にも生き生きとして元気になられると思えます。

宜しく願っています。

石田の話題

第二回 石田合同所有林野会
合同会議開催される

十二月十三日石戸地区交流館で理事と林野委員による合同会議が行われました。内容は

新体制の紹介、新理事長あいさつ、議事では令和二年度配当金や桜の植樹、義務人足（令和三年四月二十五日）ブヨメキ草刈、また、総会の日程や仮設焼却炉跡地の植栽などの説明がありました。



第二回 石田ヒガンバナまつり
フォトコンテスト受賞作品



最優秀賞
「刈り取り見極め」
大橋 功さん



優秀賞
「月夜」
菅野 崇明さん



優秀賞
「夕日の下で」
臼杵 薫さん



優秀賞
「水面に写る」
梅津 文子さん



優秀賞
「ヒガンバナと孫」
菅野 律子さん



優秀賞
「石籠に咲き誇るヒガンバナ」
菅野 敏江さん

お知らせ

今回全戸に配布されましたふるさと石田カレンダー七月二十二日、二十三日が祝日ですが、八月九日が山の日の振替休日となっておりますが、確認の結果正しいことをお知らせします。

編集後記

災禍が多い時代ですが、負けずに頑張ります。昔から先人たちも打ち勝ってこられてきたので、また、何気ない日常生活のありがたさがわかるような気がしました。